

# J R 総連通信

2021年9月29日 No.1478

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## 「竹内景助さんは無実だ！ 三鷹事件再審を支援する会」から 署名のお礼とご報告をいただきました！

全国の各級機関ならびに、組合員のみなさんに取り組んでいただいた「三鷹事件の再審開始決定を求める署名」は、JR総連として団体署名 166 団体、個人筆数 13,709 筆を集約し、「竹内景助さんは無実だ！三鷹事件再審を支援する会」へ提出してきました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

この度、支援する会より、署名に対するお礼とご報告をいただきましたのでご紹介いたします。

三鷹事件再審を支援していただいている皆さま

三鷹事件再審に向けたご支援に感謝申し上げます。

9月8日、三鷹事件再審を支援する会、三鷹事件の真相を究明し、語り継ぐ会、日本国民救援会の代表は、再審開始決定を求める署名を、東京高裁第五刑事部に提出しました。

第一次提出分は個人署名、18539筆、団体署名499団体となりました。

たくさんの署名へのご協力ありがとうございました（その後到着したものは第二次分として提出します）。

合わせて、日本国民救援会が全国大会での支援決議を執行するため裁判所に要請しました。

この取り組みに続き9月16日に、三鷹事件再審請求の三者協議が開催されました。

冒頭、異議申立審が係属している東京高裁第五刑事部の裁判長が、伊藤雅人氏に代わったという挨拶がありました。8月末に提出された検察側の意見書に対して、弁護側が10月末までに反論の意見書を提出したいとの意向を伝え、実質的な協議は次回以降に持ち越されました。

弁護団は、鉄道工学の第一人者である曾根悟東京大学名誉教授の再度の意見書を含め、検察側のすべての意見に反論を加えるため精力的に準備を進めています。

また、三者協議の中で、高見澤昭治弁護団長より、多くの署名が届けられているか見ていかたと問うたところ、裁判長らがうなずき、皆さんの署名に込めた思いが伝わっていると感じたということです。

引き続き署名を継続するとともに、再審支援の取り組みを強化してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

竹内景助さんは無実だ！

三鷹事件再審を支援する会

J R 総連は「三鷹事件再審を支援する会」と連帯し、  
三鷹事件の再審を求めていきます！